

## 学校の教育ビジョン具現に向けたカリキュラム・マネジメント ～「総合的な学習の時間」の縦割り新単元「夢中」の創設～

U 2 3 C 2 1 7 B 学校経営コース 福原 啓介（新潟市立亀田小学校）

### 1 テーマ設定の理由

勤務校の児童は、概して素直であり、決められたことはやろうとする。しかし、その一方で、経験したことのない新たな活動に挑戦したり、自分の思いや考えを人に伝えたりすることに弱さと苦手意識を抱えている。

令和5年度、教育目標を「まっすぐ伸びる」から「未来を拓く」へと変えた。20年ぶりの改定である。全員が一つのゴールに向かってまっすぐ進んでいく教育から、自ら選んだ道を力強く切り拓いていく教育へと転換するためである。児童が生きていく未来社会は、これまでの社会の延長線上にはないからである。

この新教育目標の下、「挑む」「伝える」「高め合う」という三つの重点目標（資質・能力）を設定し（当校では、この三つを三亀と呼んでいる）、この教育ビジョン具現に向けて全ての教育活動を推進している。校務分掌には「三亀プロジェクト（学部・結部・遊部）」という三つの重点目標達成のためのプロジェクトを位置づけ、創意ある教育活動を展開している。

令和6年度は、「総合的な学習の時間」再編によって、新しい単元「夢中」を創設し、教育ビジョン具現に向けたカリキュラム・マネジメントの核としたい。教科横断的かつ探究的な学びを目指す新単元「夢中」は、スポーツに例えれば「試合」であり、各教科等は「トレーニング」に当たる。この両者を往還させた学びによって、児童に「挑む」「伝える」「高め合う」の三つの資質・能力を育成し、力強く「未来を拓く」児童の育成を目指したい。

### 2 実践内容

「挑む」「伝える」「高め合う」の三つの資質・能力を育成するため、「総合的な学習の時間」の新単元「夢中」を次のような構想で計画・実践する。

- (1) 3年生から6年生までの縦割りで学習集団を編成する。
- (2) 本単元では、一人一人の児童が自分で決めたテーマに向かって探究的に学び、成果物をクリエイトする。
- (3) クリエイトした成果物（プログラム、プレゼンテーション、ムービー、テキスト、デザイン・アート、アニメーション、ミュージック等）を完成させることを本単元のゴールとする。学びのキーワードは「コンテンツの消費からコンテンツの生産へ」である。
- (4) 3年生以上の学級担任がジェネレーター（共に活動する役割）となって指導に当たる。
- (5) 地域人材を含む外部人材を可能な限り積極的に活用する。

### 3 実施計画

実施時期	実施内容（研修会、先進校視察、授業公開 等）	
	教師	児童
4月	新単元の構想検討と計画立案	
6月	児童へのオリエンテーション 児童の自己テーマ仮決定	「学び」のゴール認識とテーマ探し テーマと表現方法の決定と自主学習
8・9月	講師を招聘した校内研修（探究的な 学び・ICTを使った多様な表現）	テーマと表現方法の決定と自主学習 テーマと表現方法の決定と自主学習
10・11月	先進校視察、単元計画の確認と修正	テーマと表現方法の決定と自主学習
12月	授業実践	成果物完成に向けたクリエイト活動
1・2月	授業実践・授業公開	成果物完成に向けたクリエイト活動
3月	成果と課題の整理 次年度に向けた単元計画修正	成果物発表会

### 4 成果の検証及び公表の方法

#### （1）検証の方法

本実践では、勤務校の教育ビジョンで掲げている三つの資質・能力「挑む」「伝える」「高め合う」の育成を目指すとともに、学びから逃避し動画やゲーム等から抜けられなくなっている児童の「夢中」ベクトルを、デジタルコンテンツの消費からデジタルコンテンツの生産へと転換させることをねらっている。そこで、本実践の成果については、次の項目を指標として検証を図ることとする。

- ① 単元の学習の中で、自分の決めたテーマについての成果物を「夢中」になってクリエイトする児童の姿。
- ② 単元の評価規準に対する児童の肯定的な自己評価の割合。
- ③ 学校評価における「挑む」「伝える」「高め合う」に対応した項目に対する児童評価と教職員評価。
- ④ 新潟市生活・学習意識調査の次の項目の数値
  - ・YouTubeなどで動画を1日にどれくらい見ていますか。
  - ・電子ゲームを1日にどれくらいしていますか。
  - ・授業でICTをどのくらい使用しましたか。

#### （2）公表の方法

今年度が取組の初年度となる。また、実践におけるメイン活動は年度の後半に集中して行う予定である。そのため、本格的な研究会等の開催は困難であるが、授業公開や児童の成果物発表会のかたちをとりながら可能な限り公表し、批評を受けながら実践のOODAループを回していきたい。